

大学に入学した頃は、看護師になって  
いろんな方に看護をするということしか考えていませんでした。  
しかし、さまざまなコースの先生方や先輩方の話を聞く中で、  
看護を伝えていく立場にも立ちたいと強く思うようになり、  
高校教諭(看護)コースを選択しました。

看護師になるための勉強に加え、教師になるための勉強もしなければならぬため、  
とても大変ですが、「看護を高校生に伝えたい」という気持ちと、  
同じ夢に向かって頑張る友達の存在が心の支えになり、  
学習へのエネルギーになっています。

将来は、看護師として経験したことを、高校生に伝えながら、  
看護について教えることができる教師になれるよう頑張ります。

河野 睦美さん  
呉市立呉高等学校出身



私の母校には衛生看護科、専攻科が設置されているので、  
コースの先生から「母校で看護の先生になってはどうでしょうか」と声をかけて頂き、  
コースに興味を持つようになりました。  
コースを選択してみて、高校教諭(看護)の科目もあるのでとても忙しいのですが、  
その分、達成感があり、同じコースの同級生や先輩にとっても助けられています。  
教職課程の授業を受けていると、看護の基礎知識がとても大切になってくると、  
何度も思います。看護の基礎知識をしっかりと学び、  
学んだ内容を教えるという立場になるので、  
授業に対する意識もこれまで以上に変わってきました。  
これからも大変だな、辛いなと思うこともありますが、  
先生や先輩、同級生の優しさに支えられながら、  
頑張って高校教諭(看護)の免許を取得したいです。



河野乃綾さん  
広島県立広島皆実高等学校出身

私の地元、山口県には看護学部で教職課程を取ることのできる学部が無く、  
近隣の大学を探した際、広島文化学園大学を見つけました。

勉強をしていく中で、看護は奥が深く、  
丁寧に学習しなければ、教える側にはなるのが難しいと感じています。

コースの先輩を見ていると、意欲がわいてきます。

入学当初は、県外出身なこともあり、不安や緊張などがありました  
が県外生と学生生活のやりくりを相談し合ったりしながら  
少しずつ一人暮らしにも慣れ、今の生活を楽しんでいます。

2年生も終わりに近づき、看護の基礎の学習から、

各領域の学習が増えてきていますが、

基礎の学習も復習しながら、丁寧に学習を続けていき、  
高校教諭(看護)の免許がとれるように頑張りたいと思っています。

辻村友伽さん  
山口県立防府高等学校出身



今年の看護コースを振り返ってみると、忙しい一年でした。上手く授業ができないことも多くありましたが、今年も、授業の一環として、先生方を対象に模擬授業を行いました。模擬授業では、相手に分かりやすく伝えるための教材やジェスチャーなどを含めた工夫や、どこまでを到達目標として、対象の理解度を深めていくのか等の難しさを実感しました。しかし、高校教諭(看護)に関わる先生方の指導を頂きながら、今年一年を乗り切ることができたと考えています。これからもしっかりと勉強に励み、高等学校生徒にわかりやすい授業を行えるように努力を怠らず、頑張っていきたいです。



胡内 翔太さん  
大阪府 藍野高等学校出身

3年生の前期には、衛生看護科の授業について研究し、ある単元の指導案を作成し模擬授業を実施しました。この模擬授業が、本格的な授業をする最初の機会であり、初めは時間内に終わらず、内容も何もかも上手くいかずじけそうになりました。しかし、先生方から手厚いサポートをいただき、回数を重ねるごとに徐々に授業を形にする事ができ、その達成感や嬉しさは忘れられません。今後は4年次の教育実習に向けての学習が始まります。将来は高等学校の看護の教諭になり、良い看護師を育成することで社会に貢献するという将来の目標をしっかりと胸に刻み、これからも大学生活を有意義なものにしていくよう努力していきます。

平田 和寛さん  
広島県 崇徳高等学校出身



今年は、新型コロナウイルスの影響で  
例年通りの対面講義や演習が難しい中での学生生活でした。  
高校教諭(看護)コースでは、実際に授業を行う講義もあり、  
大変なこともたくさんありましたが、学習が楽しくなり、  
とてもやりがいを感じる事ができました。

1・2年生の頃は高校教諭になるという実感が薄かったのですが、  
3年生になり模擬授業を経験し、  
高等学校の看護の教諭になるのだという思いが一段と強くなりました。  
4年生になるにあたり、看護師免許取得と高校教諭(看護)の免許取得に向け、  
精一杯頑張っていきたいです。



内田 美結さん  
熊本県 玉名女子高等学校出身

4年間を通して、高等学校の看護教員になるための  
教職教養や教育法について多くを学びながら、  
4年次には、高等学校で2週間の教育実習を体験しました。  
これらの中で、教育の難しさとともに教育の楽しさもいっぱい学びました。  
特に、教育実習では、高校生に授業しながら、自分が感じたこと、  
考えた事を指導者の視点で、今後どう活かしていくか、  
どうしたら分かりやすい授業が出来るか等、多くの課題が残りました。  
今後、さらに研鑽を重ね、学びを深めていき、  
高等学校の生徒達から信頼される教員を目指して進みたいと思っています。

中上芽衣さん  
広島県立広島皆実高等学校出身



高等学校の看護の先生になることを目標に、このコースで学びはじめました。  
看護師免許取得と高校教諭(看護)の免許取得の2つに挑戦ということで、  
最初は難しかったです。4年次の教育実習では、  
指導方法だけでなく社会人としてのあり方についても学ぶことができ、  
人間成長ができたと思っています。  
私は自分がしっかりした看護師になることは、当然ですが、  
良い看護師を育成することができる看護の教員になりたいと思っています。  
高校生のみなさん、看護師に加えて、  
高校教諭(看護)の資格取得にチャレンジしてみませんか?  
忙しい中での学習になりますが、本当にやりがいがあり、  
あっという間の4年間です。



青川航輝さん  
山口県 早鞆高等学校出身



看護師と高校教諭(看護)の資格取得に向けて勉強をしてきました。  
大変ですが、教育者になる視点を持ちながら日々を過ごしてきました。  
おかげで、私は、日々身の回りの事に関心を持てたり、  
こんな先生になりたい、こんな授業をしたいと、  
具体的な教師像を描きながら毎日の学習が進みました。  
特に、高校教諭(看護)コースで嬉しかったことは、  
教育実習中、高校生と関わりながら、  
少しずつ生徒との関係が深められていった事、  
生徒から「分かりやすかった」と授業の感想を書してくれた事、  
指導した看護技術を、生徒がうまく実践してくれている姿を  
見る事ができたことです。  
高校教諭(看護)コースの学習を通して、  
視野が広く人間の幅が広がったと感じています。  
高校生からも信頼される教師になりたいと思っています。

藤井のぞみさん  
愛媛県 帝京第五高等学校出身

